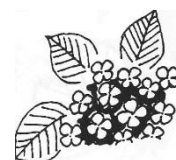


慈明院寺報七月号

人の昇沈は定んで道にあり



七月二日に祖母・吉住宗桃を偲ぶお茶会が慈明院で行われた。お茶の先生をしていた祖母は、お寺で南坊流の茶道を教えていた。祖母のお弟子さんや次の世代の茶道を志す方々が二十名以上集まり、供養のお茶会を催して下さった。その前日の七月一日、ある檀家さん夫婦が納骨堂におまいりに来て下さった。

そのご夫婦はいつもは納骨堂だけ参拝するのだが、久しぶりにと本堂にもおまいり下さった。そこで供養のお茶会の準備がしてある本堂を見て、何事ですかと居合わせた母に尋ねた。「お婆ちゃん、の供養茶会なのよ。」と聞いてそのご夫婦は祖母を懐かしんでおられた。何故ならご夫婦はお茶屋さん。在りしの日の祖母に、稽古やお茶会の抹茶を届けてくれた縁ある方だった。

これはいいネタになるや・・・そのご夫婦にネタにするねと了解を取って書いている（笑）。「住職、必ず使ってね。」と気さくなご主人に言われた。きっと祖母が呼んだのだろう。縁というのは不思議なものである。またこの供養茶会を前に、祖母の直弟子の一人である檀家さんが手紙をくれた。闘病しているため茶会に参加できない事を詫びて「宗桃先生にお茶の道を教えて頂き、今の私があります。」としたためてあった。

弘法大師のお言葉に「物の興廃は必ず人に由る、人の昇沈は定んで道にあり。」とある。世の栄枯盛衰は、その時代を生きる人々が創っている。その人々がどんな道（教え）に導かれて、生きるかが人生の分かれ目である。と教えている。茶道、華道、柔道、剣道、仏道、神道・・・道はいくらでもある。祖母のように良い縁につながる道がありますように。

住職 合掌

お施餓鬼 灯籠供養法会のご案内（別紙参照）

来る令和五年 七月二十九日（土曜日）夕方七時より

＊紙灯籠に亡くなった仏様の戒名や、先祖供養を謹書して灯籠に火を点し夕闇の中、数人の僧侶で読経してご供養を勤めます。どなたでもご参拝頂けます。

＊ご供養をお申し込み頂いた紙灯籠は、お盆（八月十五日）まで本堂に安置してご供養致します。またお盆の灯りとしてお持ち帰り頂いても構いません。法会終了後、希望される方は灯籠をお渡しします。

お盆のお参りについて

各檀家様には、七月中旬に「お盆参りのお知らせ」をお送りさせて頂きます。お忙しい時期とは存じますが、宜しくお願い申し上げます。随時、お参りについてのお問い合わせ、変更等承ります。

住職 九拝

住職のひとりごと

今年は初盆をお迎えになる方が多く、お盆まいりの予定を組むのに頭を抱えております。いつも、お仏壇まいりでお世話になっております皆様に早めのお盆まいりをお願いするかもしれません。宜しくお願い致します。合掌



慈明院

〒八一一一三三 福岡市早良区大字西二三四一（二〇）

TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四